

# 挨拶

令和元年度通常総代会の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

本日の総代会に、東北農政局北上土地改良調査管理事務所、木村次長様を始め、ご来賓の皆様には年度末ご多忙のところ、ご臨席をいただき誠にありがとうございます。

ご来賓の皆様には、常々山王海土地改良区の業務執行に特段のご指導とご支援を賜っておりますことに、衷心より厚く御礼を申し上げます。次第であります。

また、総代の皆様には、平素事業運営にご尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

昨今、我が国の国難とも言える未知の新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大しており、社会不安と経済活動が低迷しております。政府は、二月二十六日に感染拡大防止対策として、二週間程行事などの自粛要請を発表しております。さらに三月十三日付で、東北農政局より三月二十二日まで感染拡大防止の取り組み要請の通知がありました。山王海土地改良区は感染防止対策として、庁舎の玄関に消毒液を設置し、来訪者に対して消毒をお願いすると共に、各種会議後の飲食の自粛を実施しております。本日の総代会開催は検討の結果、座席の間隔を開け、マスクの着用をお願いして開催しております。

皆様方には、ご理解のほどをお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うものであります。

さて、令和元年度を顧みますと、管内の稲作は七月中旬の低温、八月の異常高温、そして台風の襲来と、困難な時期がありました。作況指数が「一〇三」のやや良となり、また米価も幾分値上がりし、豊穰の年となり、組合員も安堵したと存じます。

利水環境に於いては、平成三十一年冬季の積雪量が少なく心配しましたが、三月中の適宜な降雨と、昨年からの越冬水が約二千万トンと多かつた為、両ダムは予定より早く三月中に満水に達し、配水期間中の用水を心配することなく通水期間を終了しております。

また、五日間前倒しの水利権変更二年目で、早期の水利用を水利調整組合と密に連携して実行した結果、代掻き、田植え期の用水が平準化され、スムーズな期別配水が実施でき、低温、高温期に稲の生育と品質に支障を及ぼさないように配水対応できたところでもあります。

なお、親子ダム機能の山王海ダムから葛丸ダムへの取水は、三回戻しを実施し、夏場の高温対策で増量した為、平年よりやや多目の八百五八万トンでありました。

令和元年も大型台風が発生し、本県を始め全国各地が甚大な被害に見舞われました。幸い、管内において大きな被害はないものの、幹線用水路周辺の倒木、法面崩落が数カ所ありましたが、年度内に全て補修しております。これからも自然災害に対しては、備えを整えて参ります。

ここで、本日午前八時現在の貯水状況をご報告申し上げます。

本日、八時現在の貯水量は山王海ダムでは三千八百二十五万トン、葛丸ダムでは五百二万トンで、両ダムとも満水越流している状況であります。

三月十日の降雨量五十五ミリと雪融け水により、両ダムに多大な流入があり、葛丸ダムは三月十一日、午前零時二十五分、山王海ダムは三月十二日、午前零時四十分に満水となりました。

親子ダム機能の葛丸上流頭首工から山王海ダムへの積算導水量は、過去最大の九百三十八万トンであります。

次に、令和二年度の山王海土地改良区の主要な事業への取組みについて申し上げます。

最初に本土土地改良区の重要な使命であります農業用水の安定供給を図るため、ダムへの貯水量を確保し、利水調整規程に定めてある配水計画に沿って、十八水利調整組合と例年通り連携を密接にし、幹線水路からパイプラインなどの二種水路への公平な分水を実行し、組合員の負託に対応する所存であります。用排水施設と農地保全などの維持管理事業は、水利調整組合を主体として、管内の多面的支払交付金組織と協調連絡し、営農活動に支障のないよう取組んで参ります。

ダムなどの国営造成施設の維持管理は国、県の指導機関からの協力を得て、基幹水利施設管理事業等を活用し万全を期して参ります。

現在実施しております、国、県営事業の状況を申し上げます。

国営土地改良事業「国営二期」へ向けての調査が平成三十年から三年計画で実施されております。主な調査内容は環境調査、将来の望

ましい営農計画、基幹施設の長寿命化への設計業務などであります。今年度も引き続き、東北農政局北上土地改良調査管理事務所で調査業務が執行されることになっております。

なお、本調査は今年度で完了の予定でありましたが、水力発電へのプロセス動向の変化と、中央頭首工エリアでの農地転用増加に伴う営事業実施の要件割れなど、新たな課題に対応するために、二年間延伸したいとの説明を受けております。

平成三十一年二月に成立した、防災減災国土強靱化三カ年緊急対策としての「国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業」は、従来事業と拡充制度事業を合わせ、現在八億一千三百万円で全額国庫負担で事業執行がなされております。事業内容はダム周辺のWEBカメラ設置、両ダムのコントロールシステムの更新、高圧ケーブルの更新、電気設備の非常時に於ける機能保持バックアップ機能の整備などがあります。本事業は大変重要なことから、本土地改良区として事業が円滑に機能する為に、全面的に協力して参る所存であります。

石鳥谷西部地区基盤整備事業は、「県営農業競争力強化基盤整備事業」として、大興寺地区、大瀬川地区が岩手県盛岡農村整備室と地元推進委員、土地改良区が一体となって調査業務が精力的に実施されております。新たな課題として、未相続の解消と公図との整合などがあり、調査が延伸する見込みであります。一刻も早く解消し、早期事業着工に繋げるよう本土地改良区として努力して参ります。

また、「北寺林・八幡地区」百六十五ヘクタールを調査同意率一〇〇パーセントで、昨年九月に花巻市長名で県に計画調査申請書を提出し、調査地区として決定を待ち望んでいるところでもあります。

国営事業で造成されたダム、頭首工などの農業水利施設が農業の生産面での役割以外に、地域の生活環境に果たす多面的な役割についての「見える化」の取り組みをこれまで続けてきましたが、本年もダムサイトでのイベントの開催やダムの一般公開などを実施して参ります。

山王海ダムの一般公開は、来場者へのアンケート調査の結果から、今年六月から十月までの第三日曜日とし、五カ月間で五日公開し、来場者には、ダムカードを配布する予定となっております。

見学者の約六〇パーセントが県外からの来場者でありますので、便宜性を勘案して、ラ・フランス温泉との連携を考えているところでもあります。

事業推進に重要な事務体制は、職員採用計画により令和二年度は採用しませんが、国の定める「継続雇用制度」を活用し、定年退職者一名を継続雇用することに決定しております。これまで培ってきた技能を活かして、業務の円滑な運営に寄与していただけるものと思っております。

改良区の運営基盤に係る未納賦課金の解消対策は例年通り「強化月間」を定め、臨戸徴収と法的手段により、役職員が一体となり納入促進に一層努力して参ります。

さて、本日の総代会にご提案申し上げる議案は、土地改良法第三百三十二条による農林水産省の検査により指摘された、土地改良法改正に伴う准組合員制度の導入についての定款の一部改正の議案、本年度執行される総代選挙に伴う土地改良法改正による新たな総代選挙規程についての議案、国営造成施設等維持管理積立計画を県営事業で造成された基幹水利施設の更新に用途できるとする変更議案、そして一般会計当初予算は昨年度より約六パーセント減額の三億五千二百万円であります。

主な減額要因の一つめは、特別会計四地区が前年度で償還完了したこと、二つめとして、県営農村地域防災減災事業の完了と、基幹水利施設管理事業の県営事業分担金の減額、三つめは、五年に一度実施しております高速道路跨またぎぎょう橋点検実施の減額、四つめは、退職により職員一名の減員による俸給の減額などであります。このことにより、本年度は財政調整基金から繰入しなくても業務執行できる見通しでの予算であります。

以上の内容を含め、十四議案を上程しております。慎重審議の上、全議案ご承認賜りますようお願い申し上げます。

結びに、経済のグローバル化と地球環境の変化による気候変動、そして新たに新型コロナウイルス感染症など、農業生産現場は厳しい状況であります。現在進行中であり、国、県営事業の確実な執行と農業用排水基幹施設の保全管理、用水の安定供給に努めるなど、組合

員からの要請に対応できるよう、役職員が一体となって鋭意努力して参る所存であります。

皆様には引き続き、ご指導とご支援を深くお願い申し上げまして挨拶といたします。

令和二年三月二十四日

山王海土地改良区 理事長 高橋 勘一